

# 富士宮西ロータリークラブ会報



UNITE  
FOR  
GOOD



伊原 謙治 会長

際ロータリー第 2620 地区 2025～2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレツォ 会長 伊原 謙治 幹事 岡村 吉彦

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間  
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘 805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>  
TEL 0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail [fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp](mailto:fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp)

## No.14 通算 1623 号 2025 年 11 月 14 日(金)

♪Rotary Songs 国歌、それでこそロータリー

### ゲスト・ビジター

元米山奨学生 楊 悦さん

### 会長挨拶

会長 伊原 謙治 君

みなさん、こんにちは。

11 月 7 日（金）の富士宮市 P 連課題本贈呈式に参加されたみなさんご苦労様でした。

さて、国際ロータリーの今月の活動月間目標は、ロータリー財団月間になります。改めて、ロータリー財団は主にロータリアンと支援者からの寄付によって資金が集められています。財団の使命は、この集められた資金を活用し、人々の健康状態の改善、質の高い教育の提供、環境保護の取組、貧困をなくすなどを通して、世界理解、親善、平和が実現出来るように活動しています。当クラブも財団からの地区補助金を活用して地域に貢献しています。みなさん、これからも良いことのために手を取り合いインパクトのある奉仕をしていきましょう。

11 月 10 日（月）の午後 7 時より、オンラインで第 2 回クラブサポートミーティングが行われ参加しました。この会議はガバナー、ガバナー補佐、それと地区内の 73 のクラブの会長が参加するもので、地区からの連絡事項の他、各クラブの問題などが話し合われました。大きな話題は特にありませんでしたが、会員増強の件は少し参考になりました。7 月の期首から 8 月末までのこの地区の 73 クラブの会員数は、入会者から退会者を引いて 82 名増強したそうです。単純に 1 クラブに 1 名以上増えたこ

とになります。実際にそんな内訳ではないと思いますが、着実に増えているクラブがあるようです。当クラブも焦ることはありませんが、少しずつでも日々努力していきたいと思います。ちなみに、ガバナーは、成功例として、立派な紹介カードを作り心を込めて渡すと加入候補者が大変喜んで加入に繋がったとか、また充実した奉仕活動をアピールし、それに賛同して加入に繋がったなど、加入に対するアイデアを話して頂きました。当クラブも良いところは取り入れて、みんなで考えて少しずつ活性化して会員増強に繋がればと思います。

### 出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	Mu	比率
今週	19	17	14	3	0	82.4%

欠席者：＊堀水東志夫君、＊外木規之君、石川俊洋君、近藤千佳さん、近藤憲司君

### スマイル

- 楊悦さんの来訪を歓迎して …貫名英舜君  
○楊悦さん、お久しぶりです。  
卓話よろしくお願いします。 …遠藤壽男君  
○楊悦さんいらっしやい。  
何年ぶりですか。 …後藤憲治君  
○楊さん、久しぶりの例会  
ゆっくりして行って下さい。 …岡村吉彦君  
○お久しぶりです。

皆様にご迷惑おかけしました。 …遠藤克彦君  
○今月もヨロシク！ …若林眞治君  
○入会35年目に突入 (大判) …加藤康雄君  
○11/6で63になりました。 …竹田浩富君

## お祝い・記念日

会員誕生日

竹田 浩富 君 s 3 7, 1 1, 6



## 本日のプログラム

R財団・米山委員会  
元米山奨学生 楊悦さんの卓話



支えあいのこころ

皆様こんにちは楊悦です。

本日はこのような貴重な機会をいただき、  
ありがとうございます。私は2009年から2年間



ロータリー米山奨学生として日本大学で学びました。2010年  
博士号を取得しました。当時のカウンセラーは山口さんとい  
う方で私は”山口お父さん”と呼んでいました。日本大学  
の苦しい学生生活の中で、いつも温かく見守って下さり、日本  
の優しさ、ロータリーの「超我の奉仕」という精神を、言葉で  
なく行動で教えて下さった方でした。

今年、岡村さんから山口お父さんの訃報を聞き、胸の奥が  
静かに痛みました。けれども、あのときの優しさは今も私の中  
で生きています。私が誰かを支えるとき、きっとその温かさが  
少しだけ届いていると思います。

奨学生として支えられた経験は私の人生の方向を決めました。

卒業後は学友会の理事なども務めました。子供が次々と  
生まれ、しばらくは家庭と仕事で精一杯の時期もありました。  
それでも静岡のロータリアン加藤さんに声をかけていただき、  
卓話や静岡市、富士宮市の国際交流フェアに関わるようになり  
ました。今では富士宮市の実行委員会の一員として毎年中国  
を代表して参加しています。

富士宮市は中国の紹興市、台湾の台南市と友好交流を続け  
ており、その活動にも関わっています。これから富士宮市  
には中国からの方がもっと増えると思います。私にできる事  
があればいつでも呼んでください。

もう一つ大切にしているのが能舞台です。毎年子供達と一緒  
に能の舞台に立っています。能は「静けさの中に動きがあり、  
動きの中に心がある」と言われます。面を着け表情を消すこと  
で“心の奥の感情が浮かび上がってくる”その不思議な美しさ  
に感動します。舞台の上では全員が心をつなげる調和と尊厳  
を感じます。また能を通じて集中や礼の力を学んでいます。

現在富丘交流センターで中国語教室を開いています。また  
J-Bridge という中日教育交流プロジェクトを立ち上げました。  
これからも私を育ててくれた日本という場所に少しずつ恩を  
返していく活動を続けたいと思っています。本日はありがとう  
ございました。

